



今日も元気におはよう！楽しい一日のスタート

「げんきにあいさつ、えがおであいさつ、きょうもたのしく」意外にいいキャッチフレーズだったので、登園する子供たちのあいさつがとても元気に聞こえます。寒い朝は体も声もかじかんでしまうのですが、**元気と笑顔**はどうやら対になっているようで、あいさつひとつ変えるだけで今日も楽しい一日になりそうな気がしてくるものです。しかめっ面では元気にあいさつできないことは私自身が実験して突き止めました。立春を過ぎて、いよいよ春が待ち遠しくなってきたこの頃です。



# 風の子便り

KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園



## 発表会に想う ～日々取組と姿から～

**3歳児は、先生や友達と一緒に、お話ごっこを**  
**したりいろいろな表現を楽しんだりしました。**

発表会当日は、先生や友達とのやり取りを楽しみながら、大きな鼻をゆすってゾウになりきったり、指先まで使ってチョウの羽を表現したりする姿がステキでした。

**4歳児は、先生や友達と一緒に様々な表現やか**  
**たんな言葉でのやり取りを楽しみました。**

みんなでするお話の内容が分かり、自分なりに言葉を見つけてやりとりを楽しんだり、自由に表現したりする姿に成長を感じます。ちょっぴり恥ずかしさを感じるのもこれまた成長。

**5歳児は、自分たちがするお話遊びや表現活動**  
**に期待感をもち、より楽しくしていこうという**  
**思いをもって取り組んできました。**

ビデオを見返して「もう少し大きな声がいいね」とか、先生から演出のアドバイスを聞いて給食後に自主的に練習したりする姿がさすがだなと思いました。うん！発表会は楽しいなあ。

## 「架け橋期」をご存じですか

今年は「**幼児期から架け橋期の教育課程をサステナブルに共創する**」をテーマに研究を進めています。「**架け橋期**」とはおおよそ**5歳児から1年生までの2年間**にあたります。**幼児期の学び**の特性を踏まえて小学校で育みたい資質・能力を就学前後で**截然と**分けることが難しいことから特に生活科や体育科では、具体的な活動を通して「遊び」を取り入れながら授業が進められること学習指導要領等に示されています。

そこで、幼稚園での「遊びと暮らし」小学校の「授業」参観から、「学びのエピソード」を記録して、幼稚園で育った力が小学校でどのように発揮されているのか、また、架け橋期に育みたい資質・能力（姿や態度）はどのようなものなのかということについて考察し、子供を取り巻く様々な人々、社会、自然などの環境を通して教育課程を共創していくことをテーマとしました。次年度も引き続き取り組んでいく予定です。





## ～副園長のおしゃべり～

5歳児がコマ回しを楽しんでいる。ひと月前のことが嘘のように、様々な技に挑戦している。回したコマに紐をかけてひょいと引き上げて、手に乗せる練習をしている子もいる。手にコマがあたっただけなのに「よっしゃ！手乗せ成功！46回目」などと言っているのも実におもしろい。まだ回せない子には、紐を巻いてやったり、手を添えて投げ方を教えたりしている。失敗を重ねて上手になっていく様子に成長を感じている。見ていると、よい失敗とそうでもない失敗がある。前者は「試行錯誤」の字の通り、考え、工夫し、試しながら失敗を積み上げている。「あ、もうちょっと！」「おしいーっ！」の声飛び。やみくもに投げているだけでは失敗が成功に近づかないことがよくわかる。これが「学びに向かう力」の本質なのかもしれないとふと思う。「失敗は成功のもと」なのか「むだな失敗を重ねた」で終わるのか。相手の話をしっかり聞く、試しながら繰り返す、「これだ」と気づいたコツを逃さずにつかむ。えてして、コマ回しや、縄跳びが上手になる子たちには、運動能力だけでなくこういう力がついているように感じる。

## 季節のアルバム



積雪8センチ。雪だるまを作る5歳児。友達と力を合わせて雪玉を転がし、体に頭を乗せてもらうために副園長を探す。3つ頭を乗せました。

かき氷屋さんを楽しんでいた4歳児、明日は寒くなるとの天気予報で思った通りにきれいな色水の氷を製造することができました。

もうすぐ出番！楽しみだったりちょっと恥ずかしかったり。初めての発表会は一年のいろいろな経験の積み重ね。はりきって取り組みました。



ピオトープで集めた氷は1千万円のダイヤモンドだとか。ピオトープの水の氷ということは中になにかの命があるに違いない。とけた水は戻す。

いろいろな動物のお面をかぶってホールに集合してダンスを楽しむ4歳児。発表会に向けての遊びを友達と一緒に繰り返し楽しんでいます。

3歳児の園庭もすっかり雪。地面で雪を集めていた子供たちが見つけたのはハウスに積もった雪。ここにいっぱいあるよーと、楽しい雪遊び。

コメントのやり取りで保護者の皆さまの人柄がわかったり、子どもへの愛情を感じたりできることをとてもうれしく思っています。園で、家庭で同じく教育に携わる同士という仲間であることが、自分を前に進めるモチベーションにもなっているように思います。こんな通信を発行し、コメントを相互にやり取りして楽しんでいるのは、おそらく界限でも僕だけだろうと思っているのです。

